

奥出雲町戦没者追悼式

町、奥出雲町社会福祉協議会の主催で奥出雲町戦没者追悼式が九月十六日、横田コミュニティセンターにおいて開催されました。

式典には奥出雲町遺族会の会員、関係者など約二百人が出席しました。

岩田町長が「あの苛烈を極めた戦いの中で、亡くなられた戦没者の方々に心からご冥福をお祈りいたします。この式典にあたり奥出雲町のさらなる発展と、世界の恒久平和の確立のため努力することをここにお誓いします」と式辞を述べた後、一分間の黙祷、千原議長、遺族会を代表し八川地区の難波雅朗さんから追悼の辞がありました。

また出席者全員により、八百九十三柱の英霊に対し献花も行いました。



▲ 献花を行い、平和を誓う出席者

先の大戦が終わり六十一年の歳月が過ぎましたが、現在もテロや紛争により多くの犠牲者があり、国際的にも日本

人が巻き込まれる事件も多発し、今なお緊迫状態が続いています。この追悼式を機に私たちは、平和の大切さと不戦の決意を新たにしなければなりません。



みんなで考えよう 新エネルギー教室開催



▲ ソーラーカーの工作に挑戦

資源エネルギー庁が主催し、日本のエネルギー問題や環境問題を通じて新エネルギーの必要性、重要性を考える新エネルギー教室の実施校に八川、馬木の両小学校が選ばれ、九月二十二日に開催されました。

この実施校は県内ではわずかに四校であり、その中の二校にこれまで学校、地域ぐるみで地球温暖化問題等に取り組んできた八川と馬木小学校が選ばれました。

当日は両小学校で、石油や石炭に変わり環境に負荷をかける新エネルギーについて

の勉強会やソーラーカーの工作等が行われました。

教室では、講師から「なぜ、新エネルギーが大切か」について説明があり、途中では「石油はこのままではあと何年で無くなるか」、「エベレストの氷河が溶けたり、海面が上昇したりする原因は」などクイズ形式のコーナーもあり、児童たちはみんなで考えながら楽しく勉強していました。

今後、家庭、学校、地域等でも住みよい環境づくりのため、新エネルギーについて理解を深めていきたいと思います。

人権について考えよう 人権出前講座

十月五日、「人権」について考えようと、松江地方事務局雲南支局の丸山支局長、町の人権擁護委員が亀嵩幼稚園を訪れ、人権出前講座が開催されました。

今回は、イメージキャラクターの「人KEN」も訪れ、園児十九人と一緒にゲームやお話、パネルシアター等を通じて人権について考えました。

約一時間半の講座でしたが、園児たちは、人を大事にする気持ち、優しさ等をしつかり学びました。

